

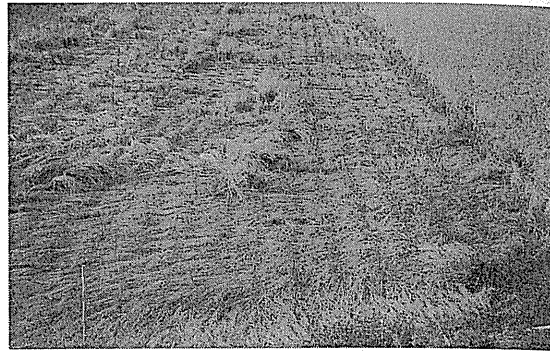
第二節 気 象

が八五回、雷雨が五六回、大雨二三回、早魃一四回、大雪一三回などである。これらのうち被害の大きかったものに台風一七回、早魃七回、濃霧三回、強風・大雪・雷雨と強風・地震・低温各一回となっている。

被害の大きかった災害（一八九三～一九六〇）

明治二十六年（一八九三）七月～八月 早魃

県下全域に六月二十三日より八月十五日まで雨らしい雨はなく、早魃の被害大。四月二十六日に小雨があつてから九月十日まで日照りが続き、飲料水にも困り、農家は土瓶で稻株に水を注いだが、秋になっても出穂せ



出穂後、台風と長雨で倒伏し、収穫放棄したコシヒカリ
右は被害のなかったコガネマサリ（平成5年、川西町）

国平均の一五・六割に対して二一・〇割、しかも水田率は全国平均の五四・三割を大きく上回る七七・二割（第六七次農林水産省統計）となっており、人々は水田の水を確保するために降った雨水を少しでも多く蓄えておこうとして、各地に数多くのため池を造ってきたのである。

『土器川年表』（一九八八・四国技術事務所）によると、古くから早魃か大風大雨は毎年のように交互に訪れ、農作物は不作となり、多くの人々を苦しめてきた。早魃のたびに、各地にため池が築造されてきた。また、イナゴやウンカが多発して穀物が実らず飢饉となった年も十八世紀～十九世紀に何回となく記録されている。

「香川県気象災害一覧表」（一八九三～一九六〇）における六八年間の気象災害は、台風による被害が最も多く八八回に及び、ついで強風

五 気象災害

災害の特色 香川県における気象災害は地形と気候に支配されて、古くから早魃と洪水が繰り返して起きていた。晴天が続けば水不足になり、大雨が降れば洪水となった。大きな川がなく、土器川といえども流路は三三三ほどしかなく、流域面積も狭く、急流であるため、降った雨はすぐに海に流出してしまう。香川県の耕地率は全

第二節 気象

第一章 自然環境

項目 年	年平均 気温 (°C)	日最高 気温の 年平均 値 (°C)	日最低 気温の 年平均 値 (°C)	年降水 量 (mm)	日降水量 0.1mm 以上の 日数 (日) 1968年 以後は 0.5 mm以上 の日数 (日)	日照時 間 (時間)	気象災害
1936昭和11	14.5	18.6	10.9	1013.3	129	2358.6	台風
37 12	15.6	19.6	11.6	1099.4	137	2223.9	台風 雷雨
38 13	15.3	19.5	11.5	1320.3	139	2300.5	台風 強風
39 14	15.5	19.8	11.5	698.3	109	2488.4	旱魃 雷雨
40 15	15.2	19.7	11.4	1053.2	123	2551.7	
1941昭和16	15.3	19.6	11.5	1350.5	156	2284.0	台風 雷雨
42 17	15.4	19.9	11.5	1113.6	110	2506.3	台風2
43 18	15.0	19.5	11.1	1211.0	133	2402.3	台風 強風
44 19	15.4	19.6	11.6	807.5	132	2485.5	旱魃
45 20	14.7	18.8	11.2	1535.9	132	2534.3	台風2
1946昭和21	15.5	19.6	11.8	1024.2	141	2393.8	台風 雷雨 大雪 大雨2 地震
47 22	14.7	18.8	11.2	858.3	120	2388.6	旱魃 大雪 熱帯低気圧 強風
48 23	15.7	20.0	12.1	1059.9	150	2354.6	台風 雷雨 強風
49 24	15.3	19.4	11.9	1199.1	150	2277.9	台風2 大雨
50 25	15.6	19.7	12.2	1177.0	154	2305.2	台風3 濃霧2 高潮 雷雨4 大雨 強風4
1951昭和26	15.3	19.5	11.8	1151.7	128	2396.7	台風2 大雪 大雨 強風 高潮
52 27	15.3	19.5	12.1	1448.6	147	2369.4	台風 強風5 大雨2 雷雨2 濃霧
53 28	15.6	19.4	12.2	1421.4	139	2168.1	台風2 雷雨2 強風5 濃霧2 大雪2 大雨2
54 29	15.5	19.4	12.2	1368.4	142	2127.7	台風4 雷雨 濃霧 大雪 大雨3
55 30	15.8	19.9	12.3	984.2	129	2193.4	台風 強風6 雷雨3 濃霧2 大雨 旱魃 台風3 大雪 強風14 濃霧3 霧雨 大雨
1956昭和31	15.1	19.0	11.8	1128.9	138	2099.6	雷雨
57 32	15.2	19.2	11.7	1128.0	143	2095.9	台風2 強風5 濃霧2 大雨2
58 33	15.8	20.2	12.4	1134.6	141	2263.3	台風 強風6 雷雨2 低温 大雨2
59 34	16.5	20.7	12.9	1128.4	142	2191.3	台風2 大雪2 風雪 強風 雷雨 大雨
60 35	16.0	20.2	12.2	1098.9	129	2415.1	台風3 強風4 大雨
1961昭和36	16.4	20.4	12.6	1110.8	122	2398.7	1961年以降は表6参照
62 37	15.7	19.7	12.2	964.1	132	2336.2	
63 38	15.1	19.1	11.9	1272.9	144	1991.7	
64 39	16.1	20.2	12.7	1040.7	129	2158.9	
65 40	15.1	19.2	11.3	1417.7	125	2119.5	
1966昭和41	15.5	19.4	12.0	1455.2	127	2115.3	
67 42	15.8	19.6	12.2	1030.1	125	2141.9	
68 43	15.3	19.0	11.7	911.5	102	2125.2	
69 44	15.4	19.0	11.7	1017.0	112	2214.2	
70 45	15.4	19.1	11.9	1321.5	114	2234.9	
1971昭和46	15.8	19.3	12.0	1026.0	110	2267.1	
72 47	15.9	19.6	12.0	1338.5	116	2234.8	
73 48	16.1	20.0	12.2	845.0	94	2283.2	
74 49	15.4	19.5	11.5	1126.0	104	2359.9	
75 50	15.8	19.8	12.2	1097.5	121	2292.9	
1976昭和51	15.1	19.1	11.3	1410.0	123	2243.9	
77 52	15.8	19.9	12.0	898.5	105	2289.8	
78 53	16.2	20.4	12.2	817.5	87	2489.0	
79 54	16.4	20.5	12.5	1100.0	109	2220.9	
80 55	15.1	19.0	11.4	1424.0	135	1979.9	

表4 気象と災害

項目 年	年平均 気温 (°C)	日最高 気温の 年平均 値 (°C)	日最低 気温の 年平均 値 (°C)	年降水 量 (mm)	日降水量 0.1 mm以上 の日数 (日)	日照時 間 (時間)	気象災害
1893明治26	15.0	18.9	10.9	1037.3	127	2296.5	旱魃 台風
94 27	16.3	20.3	12.0	662.0	121	2385.3	旱魃 台風
95 28	15.3	19.1	11.3	1118.3	134	2224.1	台風
1896明治29	15.0	18.7	11.3	1275.8	152	2019.8	台風2
97 30	15.0	18.5	11.3	1256.2	143	2259.4	旱魃 台風 天候不順
98 31	15.7	19.4	11.9	1078.0	134	2294.6	台風2 強風
99 32	15.3	19.1	11.4	1250.3	146	2162.6	台風2 天候不順 強風
1900 33	15.1	18.9	11.2	1120.0	135	2355.8	台風2 強風
1901明治34	15.0	18.7	11.1	1061.3	134	2180.2	強風
02 35	15.2	18.9	11.3	1471.6	135	2077.2	強風2
03 36	15.3	18.9	11.6	1285.8	147	2054.5	雷雨 強風 濃霧 大雨2
04 37	15.0	18.9	11.0	920.0	123	2255.7	旱魃 台風2 雷雨
05 38	15.3	19.1	11.5	1350.1	167	1997.6	台風 雷雨
1906明治39	14.8	18.8	10.9	1118.0	154	2144.6	台風 雷雨2
07 40	14.9	19.0	10.7	1208.1	148	2349.6	台風 大雪
08 41	15.0	19.0	10.8	992.7	134	2356.6	
09 42	15.0	19.1	10.8	1112.6	144	2187.8	旱魃 強風
10 43	14.8	18.6	11.3	1201.8	164	2145.3	台風 雷雨2
1911明治44	15.4	19.6	11.6	1310.8	156	2382.7	台風3
12大正元	15.2	19.6	11.2	1204.1	146	2324.2	台風2 大雪
13 2	14.9	19.3	10.8	898.5	133	2300.2	旱魃 雷雨
14 3	16.1	20.7	11.9	1160.8	139	2411.2	台風 雷雨2 強風
15 4	15.8	20.0	11.8	1213.6	139	2295.1	台風3 雷雨8
1916大正5	16.0	20.3	12.1	1034.6	139	2312.3	雷雨6 強風
17 6	14.8	18.7	10.9	1125.5	152	2409.1	台風2 雷雨2 強風6
18 7	14.8	19.0	10.9	1477.6	149	2128.4	台風4 雷雨
19 8	15.4	19.8	11.3	1295.4	140	2207.3	台風2
20 9	15.5	20.0	11.7	1167.4	143	2163.9	台風3 雷雨2 強風
1921大正10	14.9	19.2	11.1	1352.1	155	2174.1	台風
22 11	15.7	20.3	11.6	1197.1	123	2467.1	
23 12	15.4	19.6	11.4	1714.2	151	2171.6	台風 雷雨
24 13	15.0	19.5	10.9	855.3	135	2249.3	旱魃 台風 強風
25 14	15.1	19.4	10.9	1035.5	130	2208.0	雷雨と強風
1926昭和元	15.0	19.4	11.0	1058.7	142	2379.3	雷雨2 強風
27 2	15.0	19.3	11.1	900.3	142	2101.4	地震 雷雨 強風
28 3	15.4	19.6	11.6	1132.0	134	2028.2	台風2 雷雨 強風
29 4	15.3	19.4	11.5	1089.8	149	2146.7	旱魃 台風2 濃霧
30 5	15.8	20.2	11.9	877.1	141	2299.8	大雪
1931昭和6	15.1	19.4	11.4	1434.0	151	2158.7	台風 強風4 大雪 濃霧 大雨
32 7	15.1	19.4	11.2	1095.3	154	2316.3	台風 強風3
33 8	15.4	19.7	11.6	976.8	147	2344.0	旱魃 台風 雷雨 強風
34 9	15.2	19.5	11.3	837.9	118	2471.5	旱魃 台風
35 10	15.3	19.7	11.4	1218.9	130	2446.9	台風2 雷雨 強風 濃霧

第一章 自然環境

第二節 気象

表5 被害の特に大きかった気象災害（明治26年～昭和35年）

年 月 日	気象災害
明治26年7月～8月	旱魃
明治27年8月	旱魃
明治29年8月30日	台風
明治30年8月	旱魃
明治30年6月～10月	天候不順（干天・長雨・低温・不照）
明治32年8月28日	台風（台風として被害最大）
明治43年5月10日	台風
大正元年8月23～24日	台風
大正元年9月22～23日	台風
大正3年9月14日	台風
大正4年9月8～9日	台風
大正5年3月23日	強風
大正7年7月11～12日	台風
大正7年8月29～30日	台風
大正7年9月14日	台風
大正13年6月～8月	旱魃
大正14年3月12日	雷雨と強風
昭和4年7月～8月	旱魃
昭和6年2月9～10日	大雪
昭和6年9月17～18日	大雨
昭和9年夏	旱魃
昭和9年9月21日	室戸台風
昭和10年7月3日	濃霧
昭和13年9月5日	台風
昭和14年夏	旱魃
昭和20年9月17～18日	枕崎台風
昭和20年10月10～11日	阿久根台風
昭和21年12月21日	南海地震
昭和24年7月29日	ヘスター台風
昭和29年6月29～30日	大雨
昭和29年9月26日	洞爺丸台風
昭和30年3月12～13日	濃霧
昭和30年5月11日	濃霧
昭和33年3月31日	低温
昭和34年9月26～27日	伊勢湾台風
昭和35年7月7～8日	大雨

『多度津の気象百年』より作成。

項目 年	年平均 気温 (°C)	日最高 気温の 年平均 値 (°C)	日最低 気温の 年平均 値 (°C)	年降水 量 (mm)	日降水 量0.5 mm以上 の日数 (日)	日照時 間 (時間)	気象災害
1981昭和56	15.1	19.3	11.3	1020.5	113	2269.1	1981年以降は表6参照
82 57	15.7	19.8	11.9	1115.0	110	2305.1	
83 58	16.1	20.2	12.4	1106.0	119	2470.4	
84 59	15.3	19.5	11.5	799.0	91	2471.4	
85 60	15.9	20.1	12.2	1125.0	115	2264.4	
1986昭和61	15.4	19.5	11.5	831.0	101	2264.5	
87 62	16.1	20.2	12.2	1238.0	104	2335.6	
88 63	15.4	19.4	11.6	1118.5	106	2153.2	
89平成元	16.0	20.2	12.2	1392.0	115	2068.9	
90 2	16.7	20.9	13.0	1594.5	126	2130.7	
1991平成3	16.2	20.2	12.6	1170.5	123	1801.7	
92 4	16.1	20.2	12.4	1013.0	117	1962.9	
93 5	15.6	19.6	12.0	1511.0	112	1814.5	

多度津測候所資料より作成。

ず、収穫皆無のところもあった。

明治二十七年（一八九四）八月 旱魃

春より降水少なく、とくに八月は所々にわか雨をみた程度で、農業用水が不足し、明治二十六年以上の惨況を呈した。

この年の降水量は六六一・〇弱、六、八月の降水量は二三五・九弱であった。

明治三十二年（一八九九）八月二十八日 台風

高知県南西部に上陸し、時速八〇結の速度で北東に進み、三豊郡を経て二十一時三十分ごろ岡山県に再上陸した。被害の大部分は台風中心の東二〇〇～三〇〇結の香川県中部に多く、沿岸部よりも内陸部に集中した。県下の被害は次のとおりである。

死者三〇七人 行方不明一〇人 負傷者九五五人

家屋全壊七〇一五戸 家屋半壊四二八六戸 家屋浸水六〇〇戸 非住家五〇〇三戸

田冠水四五町 畑流埋四一町 畑冠水一五町 道路二一か所

橋流失五か所 堤防一四か所

船沈没一九隻 船流失三三隻 船破損八五隻 通信八九か所

表6 1961年(昭和36)~1993年(平成5)の香川県内の気象災害

(略字：注) 雨：大雨、強雨、長雨の害 風：強風、突風の害 台：台風による風雨の害
 干：少雨による干害 乾：火災を誘発した異常乾燥害 寒：異常低温による
 寒冬害 凍：凍結による害 雪：大雪、積雪の害 暖：暖冬の害 霜：
 凍霜の害 雷：落雷、降雹の害 波：波浪の害 赤：赤潮の害 暑：異
 常高温の害 霧：濃霧による視程不良害 冷：低温による冷害
 枠内の左側は上旬、中央は中旬、右側は下旬を示す。
 2などの数字は、その時期の回数を示す。
 ⊕ は、丸囲み(干害)の継続期間を示す。

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1961(昭和36)							雨			台2	(雨風)		
1962(37)					風		(雨)	(干)					
1963(38)	(寒雪風乾)				霧		雨	台2		台2			(風雪)
1964(39)		風	雪	風	霧		風			台			
1965(40)	風	風	霧	乾	風	風	雨	霧	雷	乾	台2	風	風
1966(41)				霧			雨	霧	霧	雷	台2		
1967(42)	凍			霧	霧	雷	霧	霧	霧	赤		台	風
1968(43)		風	雪			霧	霧	霧	雨	台	台		霧
1969(44)	霧	霧	雪	霧	霧	霧	霧	霧	雨	台			
1970(45)	乾	霧	風	霧	風	風	(冷)雨	台	霧	台2		雷	風
1971(46)	風	霧	霧	(乾)霧	乾	霧	雷	霧	霧	雷	台	台	風
1972(47)	風	霧	雪	風	風	霧	霧	霧	霧	雷	台	風	風
1973(48)			(乾)	霧	霧	霧	霧	霧	霧	(干)	霧		風
1974(49)	(干乾)	雪	風	風	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1975(50)	(乾)風	霧	霧	(乾)	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1976(51)	雪	(干乾)	霧	霧	(凍)	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1977(52)	寒	凍	乾	干	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1978(53)		雪	霧	風	(乾)	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1979(54)	霧	(暖)		風	霜	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1980(55)				霜	霜	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1981(56)	雪	凍	雪		霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1982(57)	雪	霧	乾		霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1983(58)		風	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1984(59)	雪	雪	(寒)	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1985(60)	(干)	乾	霧				台					風	乾
1986(61)	(干)	乾	乾		雨	風		雷	霧	雷	乾	台	(干)
1987(62)		乾	霧	風	乾			雷	霧	雷		台	
1988(63)				霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧	霧
1989(平成元)	霧				雷				台	雨	台		
1990(2)					霧	霧		(干)乾	台	台	台	風	霧
1991(3)								雷	霧	台			
1992(4)		乾		風				雷	霧	台			風
1993(5)		風	乾		乾			(雨)台	(冷)	台			

『多度津の気象百年』、気象年報(高松地方気象台)より作成。

も、人々への影響は様々で、災害となってくることもある。
 上水道の普及によって、冬には凍結による水道管の破裂や異常乾燥・少雨時の給水制限、数々の積雪が自動車
 のスリップ事故、濃霧による船舶の欠航や海難事故、降雹によるビニールハウスの破損、海の汚染から夏は赤潮
 による養殖漁業への被害、大雨による低地での浸水、強風による瀬戸大橋や高速道路の通行規制など、災害の種
 類に変化が出てきつつある。

昭和三十六年以後の気象災害 産業経済活動の発達は、交通機関の発達を促進させ、交通量の増加をもたらして
 いる。国道や県道の舗装が進められ、都市化の進展もみられるようになった。以前と同じような気象状態であって
 も、人々への影響は様々で、災害となってくることもある。
 昭和三十六年以後の気象災害 産業経済活動の発達は、交通機関の発達を促進させ、交通量の増加をもたらして
 いる。国道や県道の舗装が進められ、都市化の進展もみられるようになった。以前と同じような気象状態であって
 も、人々への影響は様々で、災害となってくることもある。
 三筋で六、八月の降水量は二二六・〇ミリしかなかった。
 昭和十四年(一九三九)夏 旱魃
 前年の十一月より降水量が平年の三分の一しかなく、雨が明けても平年より降水量が少なかった。麦作にはよ
 かったが、梅雨入りしても雨が少なく、七月からかんかん照りの日が続いた。このため田植えは遅々として進
 まず、六月末までに田植えが終わったのは県下の半分程度であった。その後、各地に井戸や鑿井が掘られ、水
 の確保に努めたが、乾燥している用水路では水が田に届く前に無くなってしまい、田の地面は白く乾きひび割
 れが生じていた。各地で雨ごい祈願が行われたり、炊事や洗濯に使った水を土瓶に入れて、稲の株元に注いで
 も効果がなく、丸亀平野においては収穫皆無の田がほとんどであった。この年の多度津での降水量は六九八・
 三筋で六、八月の降水量は二二六・〇ミリしかなかった。
 暴風雨：多度津測候所発表によれば、瞬間風速は五二メートルに達した。翌日三時ごろおさまる。
 県内の雨量：二〇〇～五〇〇筋、多度津の最大風速：西三七・五メートル/秒

第一章 自然環境

表7 被害の特に大きかった気象災害（昭和36年～平成2年）

年 月 日	気 象 災 害
昭和36年 9月14～16日	台風18号（第二室戸台風）
10月26～28日	低気圧による大雨、強風
昭和37年 6月3日～7月16日	梅雨前線による長雨、大雨
7月下旬～	干害
昭和38年 1月～	異常低温のほか積雪、強風、異常乾燥など
昭和40年 9月10日	台風23号
9月13～17日	台風24号と秋雨前線
昭和42年 7月中旬～10月下旬	干害
昭和43年 2月15日	大雪
3月12日	大雪
昭和45年 6月10～26日	冷害
昭和46年 8月29～31日	台風23号
昭和47年 7月3～16日	大雨
9月13～16日	台風20号
昭和48年 3月上旬～下旬	異常乾燥
7月上旬～8月下旬	干害
昭和48年11月中旬～翌年2月上旬	干害、異常乾燥
昭和49年 8月31日～9月2日	台風16号
9月8～9日	台風18号
昭和51年 9月8～13日	台風17号
12月下旬～翌年3月中旬	異常低温、凍結、異常乾燥
昭和53年 7月上旬～8月下旬	干害
昭和54年 9月28日～10月1日	台風16号
10月18～19日	台風20号
昭和55年 7月上旬～8月下旬	冷害
9月10～11日	台風13号と秋雨前線
昭和56年 2月25～28日	異常低温、凍結
昭和58年 9月25～28日	台風10号
昭和59年 1月31日	大雪、凍結
昭和62年10月15～17日	台風19号
平成元年 8月26～27日	台風17号
平成2年 9月14～20日	台風19号

『多度津の気象百年』より作成。